

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第119号	氏名	江頭 昌典
学位審査委員	主査 中込 治 副査 片峰 茂 副査 由井 克之		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価			
<p>ロタウイルス下痢症は小児期の重要な感染症であり、最近ワクチンが開発されたが、日本では未承認である。本研究は近年、ラクトフェリンの抗ロタウイルス効果が報告されているところから、その効果を明らかにするために臨床試験を行ったものであり、その目的は十分に妥当である。</p>			
2 研究手法に関する評価			
<p>乳幼児計298人を対象としてラクトフェリン(100mg)摂取群(L群172人)と非摂取群(N群126人)の2群に分けてロタウイルス下痢症の発症率と重症度を比較した。統計学的解析手法も妥当である。</p>			
3 解析・考察の評価			
<p>上記手法で解析した結果、乳幼児への投与によりラクトフェリンにロタウイルス下痢症の重症度を下げる効果があることが明らかになり、今後の進展が多いに期待される。</p>			
<p>以上のように、本論文はロタウイルス研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			